

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
1	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	保健衛生事務に要する経費	健康増進課			①安心安全な医療を提供するため、二次救急事業の維持、健康管理センター管理医の配置、医師会等への補助金の支出を行う。 ②二次救急事業は鎌ヶ谷市のみで実現することは不可能であるため、船橋市との協定締結による確保が必要である。	20,230	21,453	6精査・検証	①二次救急及び災害時等を含む医師会等の協力が必要不可欠であり、継続して実施していく必要があるため。 ②かまがや安心医療ナビシステムの情報の更新を実施。活用しやすいレイアウトの検討を行う。	23,711
2	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	健康づくり推進に要する経費	健康増進課			①食を含めた健康づくりのための講座・教室・相談・教室などを、ライフステージに合わせ推進する。 ②健康寿命の延伸のため、若い世代から正しい食生活が出来るよう普及啓発の場や開催時期を考える。	4,810	4,731	6精査・検証	①市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要がある。 ②健康づくり推進のための講座等の開催及び次期いきいきプランの策定に向けて評価及び市民アンケートを実施する。	8,294
3	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	各種健(検)診に要する経費	健康増進課	○		①がん疾患等の早期発見、早期治療を促進し、市民の健康保持と増進を図るために各種健(検)診を行う。 ②高齢化や国等からの指針、受入医療機関等の状況により、検診実施体制を検討することが必要である。	91,512	99,336	6精査・検証	①疾病の早期発見、治療により市民の健康保持につながるものであり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②集団検診の実施体制を検討する。胃内視鏡検査導入に向けての検討や受診者の増減に伴う読影回数の見直しをする。	111,254
4	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	予防接種に要する経費	健康増進課	○		①感染症の発生及びまん延を予防するために予防接種を行う。 ②制度の改正が頻繁にあり、急遽ということもしばしばあるため、予算も含め、迅速な対応が必要である。	232,871	234,955	6精査・検証	①伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②新たに制度化された風しんの追加的対策を実施する。定期予防接種の向上のため接種動員の内容を検討する。	324,842
5	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	健康管理事務に要する経費	健康増進課			①円滑な事業展開のために必要な専門職を配置したり、事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図る。 ②市民の利用が少ない事業について、コストや効率性を含め、事業内容の見直しと改善が課題である。	11,918	11,763	6精査・検証	①市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要がある。 ②人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供し、見直しが必要な事業は改善案を決定する。	14,626
6	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	母子保健に要する経費	健康増進課			①妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。 ②親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援が必要である。	88,980	82,796	6精査・検証	①妊娠期からの切れ目ない支援やライフデザイン教育について、関係機関と協議し、改善点等を検討する必要がある。 ②切れ目ない支援を継続するため、子育て世代包括支援センターを各機関と連携し、推進する。	97,751
7	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	成人保健に要する経費	健康増進課			①40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。 ②講座参加者や健康教育対象者が70代の高齢者が多く、若い世代の参加が少ないことが課題である。	208	204	6精査・検証	①ハイリスク者への個別対応と健康な市民に対して予防啓発が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②既存の事業を活用し、若い層への啓発を強化する。	187
8	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科保健に要する経費	健康増進課			①市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。 ②乳歯のむし歯は減少したが、永久歯のむし歯や歯周病により、国保に占める歯科医療費の割合は依然高いことが課題である。	3,231	3,059	6精査・検証	①むし歯や歯周病予防を推進するため、歯科健診や教育・相談の効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②若い世代からの歯周病予防を推進するため、20歳、30歳、40歳の歯周病検診の受診勧奨を強化する。	2,831

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
9	一般	4	1	4	116健康を支える保 健・医療の充実	精神保健に要する経費	健康増進課			①市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすきように、講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施する。 ②精神疾患を理解し、市民・関係機関と協働し地域で支えていく必要がある。	628	735	6精査・検 証	①誰もが住み慣れた地域で生活しやすきよう支援が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②精神疾患の知識、理解を深める講演会、相談窓口の周知等を継続する。各種講演会でゲートキーパーの周知を図る。	652
10	一般	4	1	4	116健康を支える保 健・医療の充実	フッ化物洗口事業	健康増進課	○	○	①保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。 ②洗口が全小学校全学年で実施できるようにするため、関係者の理解を得ながらシステムを構築する。	2,361	2,691	7拡充	①子どものむし歯予防は、歯科医療費の抑制につながり、有効性が高い。令和元年度まで毎年1学年ずつ対象を拡大する。 ②小学2～6年生を5月から継続実施、小学1年生に教育と洗口指導後、2学期からフッ化物洗口を週に1回実施する。	3,312